

研究課題の名称

歯科的介入による骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の予防効果に関する多施設共同後ろ向き研究

研究の目的及び意義

高用量の注射骨吸収抑制薬が投与されているがん患者では骨吸収抑制薬関連顎骨壊死 (ARONJ) の発症率が高い。本研究の目的は、実施した口腔管理方法、その後の発症率、発症リスク因子を明らかにすることである。

研究対象者の選定方針

2007年1月1日から2018年12月31日までに歯科を受診したがん患者。

高容量骨吸収抑制薬(ゾメタ、ランマーク)が投与されている患者。

年齢20歳以上、性別不問。

研究予定期間

承認日 (2019年5月15日) から西暦2021年12月31日